



民主党号外

2005年5月号

《墨田区版》

民主党広報・宣伝委員会
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)



あべきみこ活動 REPORT

あべきみこ事務所

〒131-0043
墨田区立花4-1-8
Tel.03-3610-0777
★URL: <http://www.abekimi.net>
★e-mail: abekimi@abekimi.net

日頃から地域や支援団体の皆様にはご支援を賜り、ありがとうございます。

早いもので今年の5月で4年の任期の半分の2年が過ぎました。これまで、議会においては定例会での3回の質問、また16年度決算特別委員会や17年度の予算特別委員会も会派の代表として参画してまいりました。地域におきましても各行事に参加させていただき、後援会主催のバス旅行会・新春のつどい・区政報告会等では多くの皆様に参加いただきました。

今後も、ご支援いただいた皆様のために、そして皆様からのご支持を次の選挙につなげられるよう、精一杯働いて参ります。

Action1 新春のつどい

1月30日地域や、支援団体の皆様に参加いただき『あべきみこ新春のつどい』を盛大に開催することができました。誠にありがとうございます。山崎昇区長をはじめ井上和雄衆議院議員、内藤正光参議院議員、岡崎トミ子参議院議員にも来賓としてご出席いただきました。

ピアノ・三味線の演奏や踊りの披露等催し物も行われ楽しいひと時を過ごしました。



Action2 民主党活動



3月28日民主党の政策調査会で白鬚東地区防災拠点と京島の密集市街地の視察が行われ、地元の区議会議員として同行いたしました。

京島のまちづくりでは防災性能の向上や生活の利便性を考えて主要な生活道路として、優先整備路線の取組み状況の説明を受け、消火活動が困難といわれている密集住宅街を雨の中視察して参りました。移動して白鬚東地区防災拠点では防災施設や監視室を視察し管理状況について質疑応答が行われました。

現在、民主党「次の内閣」文教科学総括副大臣で、民主党教育基本問題調査会 事務局長の鈴木寛参議院議員を講師に向かえ、政策研修会が行われ参加してきました。

教育改革問題について議論が行われ、子どもの学力低下、教師の質の向上、学校現場での防犯等様々な意見が出ました。



Action3. 予算委員会報告

3月2日から15日(実質9日間)まで行われた平成17年度予算特別委員会において、予算委員として初めて参加し様々な問題について質問・提案をしました。主だった質疑をいくつかご報告いたします。今後も区議会議員として職務を全うして参りますのでご指導・ご支援をお願い申し上げます

【質問内容】

【回答内容】

1. 保育所誘致について

現在墨田区では93人の待機児童がいます。待機児童を解消することが最も重要な課題のひとつです。対策のひとつとして東京建物に25名程度の認証保育所を誘致することになっているようですが、認証保育所は駅前、休日保育、長時間保育等のニーズからも必要はあると思いますが、保護者の保育料の負担が大きいことから、実際必要とされているのは認可保育所だと思います。本来60名程度の認可保育所を誘致すべきだったと考えますが認証保育所に決まった経緯を伺いたい。

東京建物より当初居住者のために託児所を用意したいと提案がありました。区としては委員提案どおり60人規模の認証保育所を考えておりましたが、170㎡程度の面積なので25名規模の保育しか難しいと判断し、託児所ではなく、区の指導が行き届く認証保育所に変更していただきました。大都市特有の多様化する保育ニーズに対応していくために、認証・認可保育所、保育ママなど総合的に整備して行くことが必要だと考えています。保育園の待機児童は年々増えており、その対応は急務と考えている。当面は現在の区立保育園の施設を整備し受入れ定数の増加で対応を図る。今後とも、分園や認証保育所等の設置を積極的に検討したい。就労形態の多様化による保育ニーズにこたえるためにも、特別保育条例を行う『あおやぎ保育園』の状況を見て拡大を図りたい。

2. 保育園給食の民間委託について

17年度から4園の保育園給食を民間委託を行うとのことですが、保護者の間ではいろいろ波紋が広がっています。『あおやぎ保育園』に指定管理者制度を導入した時はある程度時間をかけて説明したようだが、今回は唐突だったという話を多く聞いている。民営化についてはいろいろ議論されるところだが、今後は民営化を進めるにあたっては早い時期からの説明をお願いし、保護者の不安を少しでも取り除けるような方向で取り組んでいただくよう要望します。

12月に各園の保護者に説明会を実施し区のお知らせ、チラシ配布等理解いただくよう努めてきた。個別の情報については保育園の園長が全面的に保護者に行うようにしてきた。事業者選択する際に最大限の配慮をし実績のある業者を選んだ。アレルギー・食育の問題については情報提供した結果、ほとんどの皆様に理解いただいていると考えている。(本当にほとんどの保護者の方に理解いただいたのでしょうか?導入後も保護者に理解してもらおうよう、他園で実施の際には早い時期からの説明を要望しました。)

3. 巡回バスの設置について

昨年の決算特別委員会で検討いただけるお約束でした、文花の子育て相談センターやいきいきプラザなど交通の便の不便なところに、福祉センター等の送迎バスを、空き時間を利用して巡回バスとして利用すべきだと提案させていただきました。他区でもそういった例があるので、是非墨田区でも設置していただきたい。検討結果を伺いたい

福祉センター等の送迎バスは、日々の送迎以外に不定期に事業で使うことがあります。従って、定期的に他のルートを約束した形で確実に回することは非常に難しいという話がありました。また陸運局から送迎用バスとして許可を受けている。一般貸切バスとして認定を受けるための切り替えが秋ごろに行われているその時期に向けて対応可能か再度検討していきたい。

【質問内容】

4. 放置自転車対策について

放置自転車は、街の美観を損ねるだけでなく、事故などの大きな原因になります。車イスや目の不自由な方にとっては大変危険です。また、緊急車両等の通行の妨げにもなります。現状のまま駐輪場の整備が進まないと撤去費用も莫大なものになりかねません。思い切った施策で駐輪場の整備をするべきだと思いますが、いかがでしょうか

5. 墨田区の財源対策について

予算内訳の中で、義務経費のうち人件費が占める割合が24.7%。今後の推移として、2007年度には団塊世代の多くの方が退職を迎えます。その資金計画についてはどう考えていますか。

扶助費については、生活保護費が年々増加傾向にあります。17年度では4.7%増です。受給者の年齢層も低下している傾向の中、その推移をどう判断し、どのように資金調達を組んでいるのか。あわせて、こうした傾向にどう歯止めをかけていくつもりなのか、伺います。

6. 学校現場での防犯対策について

今年2月、寝屋川小学校で殺傷事件が起きてしまいました。こういった不幸な事件の再発を未然に防ぐためにもより一層の防犯体制の充実が必要です。また、事件が起きてしまった場合、保護者に正確な情報をいち早く伝え、事件後のケアをどうするかということも大事だと考えます。仕事をしている保護者が多い中、通常の緊急連絡網だけで連絡をとるとするのは大変難しいと考えますので、検討して頂きたい。

昨年5月に配布した防犯ベルの故障が大変多いと聞いています。交換を願い出ても、なかなか手に入らず、不携帯の子供がいるという実情のようですが。児童がきちんと携帯できるような体制をお願いします。

その他にも、介護予防、新タワー誘致、男女共同参画、環境問題等さまざまな質問や提案を頂きました。詳しくは『あべきみこ』のホームページ、もしくは区議会の議事録検索で閲覧いただければ幸いです。

【回答内容】

通勤・通学の方たちをまず大優先にして自転車の整備を進めています。1日長時間放置されるということなので、完全なものとしていきたい。現状ではなかなか駐輪場の拡大というのは難しいが、できる限りあらゆる手段を通じて駐輪場の土地を探していきたいと思います。（現在、年間2900万円以上もの撤去費用が使われています。早急な対策が必要です。）

人件費については、税あるいは財政調整等できちんとした対応が図られていますが、退職手当については、退職人数の平準化、財政調整基金等を活用した支出の平準化を図っていくべきと考えています。

基本的には、国や都の補助等もあるし、財政調整上のカウントもあります。しかし、自立した生活に移行できるよう就労支援等の支援をしながら、真に困っている方への対応は図っていくべきであろうと考えています。

現時点では各学校から保護者に対し緊急連絡網等を通じて周知していただくという現状である。（今後の対策については答弁がなかったので、これからも緊急連絡のための携帯メールの活用等連絡体制の強化を働き続けていきます。）

防犯ベルについて調査の結果、故障での交換が1105個程度、故障が多いと回答いただいた学校が25校中14校ありました。携帯率については、平均すると60%でした。防犯ベルの製作会社に改善要求をしており、今年4月の配布に当たっては携行するよう再度徹底をお願いしたいと思っています。



